日刊工業新聞 2016年10月28日 掲載 「提携の数理モデルで博士号」

2016年(平成28年) 10月28日 金曜日

など八つの経営資源を5段

L業新

社のデータを用いて「営業 間マッチングの精度を高め 数理モデルを構築し、企業 る。提携に関する相互補完 業の立ち上げをサポートす ルティングした企業152 ようとしている。 ングは、提携による新規事 このモデルは自らコンサ ティーシーコンサルティ 「技術力」「人材力」 ちょっと訪問

シ 7 # 1

階評価し、

提携



冨田社長

上げの獲得につながれば」 算出する仕組み。冨田賢社 の指標になる。新しい売り になり、最適な提携先選定 「強みや弱みが明らか の数理モデルで博士号 相互補完係数を 塾大学から博士号を授与さ グラムなので、多くの人に 使ってもらいたい」と期待 れた。「自由に使えるプロ デル構築の研究で、慶応義 を寄せている。 9月15日にはこの数理モ

山2の11の13、03・64 未公表▽資本金=1000 55・5255▽売上高= 万円▽従業員=3人▽設立 08年(平20)5月